

説 教

聖日礼拝 北浜チャーチ
黒田 禎一郎

2019年7月7日（日）

主 題：「さらに豊かになりましょう」

ー7つの勧告ー

テキスト：ヤコブの手紙4章6-10節

はじめに

- ・最近、国会で問題となっていることの一つは、「**老後の2千万円問題**」です。金融庁が、公的年金以外に老後の生活を過ごすには、**老後資金 2千万円**が必要という報告書を公表しました。これが大きな問題となっています。
- ・確かに、老後資金がなければ人は不安になります。問題は、日本の多くの人々には**2千万円**という老後資金がないということ、聞きました。安心して暮らせる老後資金がある人々は、非常に限られた人々と言われています。
- ・人は生きるためにお金は必要です。しかし、お金よりもっと幸いなものをいただいた人がクリスチャンです。クリスチャンの幸いは、イエス・キリストにあって、永遠の命をいただいたことです。しかし、さらに幸いな道があります。それは人生を勝利者として歩む道があることです。神を信じたクリスチャンは、人生の勝利者として歩むこと、それは神が喜ばれる道です。
- ・今日、神から幸いをいただいた私たちは、「**さらに豊かになりましょう**」と題し、人生に勝利する7つの道を考えてみたいと思います。

大切なポイント

1. 人生に勝つ7つの道（1）

1) 神に従いなさい

4:7 ですから、神に従いなさい。

ヤコブは旧約聖書・箴言の言葉を引用しました。

あざける者を主はあざけり、へりくだる者には恵みを授ける。

箴言 3:34

- ・高ぶる者は、自分が恵みを必要としていることに気づいていません。そういう人は、この世を友とする人であり、神に背を向ける人です。もともと神に背を向けること（従わないこと）が罪ですから、罪に勝つ道といえば神に従うことであり、それは当然すぎるほど当然なことです。

- ・神に従うことの第一歩は、罪の告白です。 1ヨハネ1章
1:9 もし、私たちが自分の罪を言い表わすなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、すべての悪から私たちをきよめてくださいます。

2) 悪魔に立ち向かいなさい

4:7 そして、悪魔に立ち向かいなさい。そうすれば、悪魔はあなたがたから逃げ去ります。

- ・悪魔の誘惑や攻撃がきたことが分かったならば、悪魔の言いなりになるのではありません。毅然として立ち向かわなければなりません。悪魔に勝利する秘訣（自力では不可能）は、「立ち向かうこと」です。悪魔は恐ろしい、力ある存在です。決して侮ってはいけません。しかし、私たちが心して悪魔に立ち向かうのなら、神は勝利を与えてくださいます。
- ・悪魔は私たちを糾弾する者です。 1ペテロ5章

5:8 身を慎み、目をさましていなさい。あなたがたの敵である悪魔が、ほえたけるししのように、食い尽くすべきものを捜し求めながら、歩き回っています。

しかし、信仰によって悪魔に立ち向かう者には、勝利が約束されています。

6:11 悪魔の策略に対して立ち向かうことができるために、神のすべての武器を身に着けなさい。 エペソ

3) 神に近づきなさい

4:8 神に近づきなさい。そうすれば、神はあなたがたに近づいてくださいます。

- ・この世を友とする者たちは、神から迷い出た者たちです。神に近づくとは、神に向かい方向転換することです。神に近づくとは、礼拝に出ることもそうですし、聖書を読むこともそうです。毎日、聖書を読むことは、疲れたり、忙しかったりする中で大変なことです。しかし、これは神に近づくことであります。
- ・またお祈りすること、兄弟姉妹と交わることもそうです。神に近づく道はいろいろあると思いますが、大切なことは私たちが心して（つまり意識的に）「神に近づくこと」に取り組むことです。
- ・イエスは絶えず私たちに愛の目を注ぎ、父なる神に私のような者を執りなしてください。しかし、私が心して神の方を向かなければ、主の恵みに与ることが難しいのではないのでしょうか。
- ・皆さん。親が子どものために、なにもかもやりすぎると子どもをスポイルしてしまいます。黙っていて、神がすべてをしてくださるのではありません。もちろん、神の愛と恵みのゆえに私たちは救われました。しかし、私たちが何もし

ないで恵みに与るように仕組まれてはいません。もしそうであれば、靈的甘えん坊になってしまうことでしょう。

- ・神に心して（意思を働かせて）近づくことです。

4) 手を洗いきよめなさい

4:8 罪ある人たち。手を洗いきよめなさい。

- ・罪ある人たちとは、信仰をもっている人たちの中で罪を犯している人への呼びかけです。つまり、外面的な罪をそのままにしていけないということです。対面的に罪を犯しているならば、そのままにしていけません。
- ・人に対して申し訳ないことをしたと思ったら、ちゃんとその人の所へ行き、ごめんなさいと言わなければなりません、お金の面でいいかげんで、ごまかしていたことに気づいたら、具体的に始末をしなければなりません。自分を甘やかして放置してはいけないのです。それが手を洗いきよめるということです。

5) 心を清くしなさい

4:8 二心の人たち。心を清くしなさい。

- ・手を洗うという外面的行為の他に、ヤコブは内面的に洗う必要があることを教えています。それが「心を清くしなさい」です。心をきよくするには、イエスの十字架を仰ぐことです。十字架の御血により頼むことです。私たちは自分で自分の心を清くすることはできません。
- ・私たちの教会堂正面には十字架が掲げてあります。これはシンボルにすぎません。私たちは十字架を拝むのでもありません。それでも、礼拝に出て心静ませて十字架を目にする時、それを通して十字架を仰ぐことができるのでしょうか。1ヨハネ1章

1:7 しかし、もし神が光の中におられるように、私たちも光の中を歩んでいるなら、私たちは互いに交わりを保ち、御子イエスの血はすべての罪から私たちをきよめます。

十字架で流されたイエスの御血は、私の罪を清めます。

6) 苦しみなさい

4:9 あなたがたは、苦しみなさい。悲しみなさい。泣きなさい。あなたがたの笑いを悲しみに、喜びを憂いに変えなさい。

- ・これは自分の罪のゆえに、苦しみ、悲しみ、泣くことです。イエスはマタイの福音書で次のように言われました。

5:4 悲しむ者は幸いです。その人は慰められるからです。

- ・ヤコブもイエスも同じ真理を教えています。しかし、なぜ苦しみなさい、悲

- しみなさい、泣きなさい、とヤコブもイエスも教えたのでしょうか……。
- それは苦しみ、悲しみ、泣くことの内に自分の真の姿に出会うからです。パウロは言いました。2コリント7章

7:10 神のみこころに添った悲しみは、悔いのない、救いに至る悔い改めを生じさせますが、世の悲しみは死をもたらします。

自分の罪深さに涙し、なんと惨めな人間と気づいたパウロは悲しみの人となりました。人はこの悲しみを経験して初めて、キリストは罪人のかしらである私の身代わりとなり、十字架についてくださったことを知るのです。そして本当の幸せ、希望が与えられるのです。

- ですから、苦しむこと、悲しむことは益であると聖書は教えています。なぜなら、苦しみ、悲しみよりもっと大きな祝福が約束されているからです。

7) 主の前でへりくだりなさい 10節

4:10 主の御前でへりくだりなさい。そうすれば、主があなたがたを高くしてくださいます。

- ヤコブの手紙は行いを強調していると、一般的に言われますが、じつはヤコブの手紙の中心メッセージは、「主の前でへりくだりなさい」であります。人の前で謙遜なふるまいをすることは、いくらでもできるでしょう。あの人は謙遜な人だ、腰の低い人だ、と言われることはそう難しいことではありません。
- しかし聖書は、「主の前でへりくだりなさい」と教えています。これは罪の問題に解決を与える非常に大切なポイントです。主の前にへりくだることなくして、私たちは罪に勝つことはできないからです。主はへりくだる者を高くしてくださいます。

* このような、ヤコブはユダヤ人クリスチャンに、人生に「勝利する7つの道」を説きました。そこで勝利する人生の次のステップを考えてみましょう。

2. 人生に勝つ7つの道 (2)

1) 神に従うとは

- いかがでしょうか……。ヤコブは「罪に勝つ7つの道」について語りましたが、その内のどれかが、皆さんの心に留まったかもしれません。心に留まった道があったならば、どうぞそれに従ってください。つまり応答してください。

『例話』

- こんな経験をしたことがあります。私たちは事があるたびに、神に感謝の心を表すしるしとして、愛の献金をします。献金は率先して、喜びと感謝をもつ

てお捧げするものです。神はその愛と感謝の捧げ物を用いて、ご栄光を現してくださいます。

- ある時のことです。「ミッション・宣教の声」に感謝献金が届きました。喜びをもって中を開いてみると、何も入っていませんでした。差出人は、きっと忘れてしまったのではと思います。またその逆もありました。あるキリスト教会が新会堂を建築されました。そこで私たちはお祝いの献金をさせていただきました。しばらくすると、その教会の牧師から連絡が入りました。「お祝いの献金は感謝ですが、先生！中身が入ってありませんでした。」と。私はもう恥ずかしくて、赤面しまいました。
- 皆さん。これらもうっかりミスであったことと思います。しかし緊張感が不足していました……。
- 神に従う人生で、うっかりミスもあるかと思えます。しかし、適度の緊張感も必要であると思えます。なぜなら、私たちは完全ではないからです。皆さん。私たちは「罪に勝つ7つの道」、勝利の人生について聞きました。いったい、どのように応答するものでしょうか……。
- 勝利の人生を過ごすために、私はもう一点大切なことがあることを教えられました。それは鍵のことばです。

2) 大事な鍵のことば

- 7節、8節、10節に小さいですが、同じことばがそれぞれ1回ずつ出てきます。それは「そうすれば」ということばで、とても大切です。
 - 4:7 そうすれば、悪魔はあなたがたから逃げ去ります。
 - 4:8 そうすれば、神はあなたがたに近づいてくださいます。
 - 4:10 そうすれば、主があなたがたを高くしてくださいます。
- これらのことは、いま挙げた7つの道のどれにも当てはまることです。神は十字架と復活をとおして、救いを完成してくださいました。ペンテコステには約束の聖霊を送り、勝利の信仰生活を約束してくださいました。あらゆる罪に打ち勝ち、神の友として生きる道を備えてくださいました。それは、もうすでに備えられています。
- しかし、「そうすれば」ということばがあることは、それに応じなければ私のものにならないということなのです。黙っていて放っておいて、自然にきよめられるとか、高められるということはありません。
- 私たちが神に聴き従うことなしに、神のみわざはなされません。私たちが神に聴き従えば、「そうすれば」、神はしてくださるのです。それは神がケチである

というではありません。そのようにして、神の恵みにあずかるのでなければ、神の恵みがそれだと分からないほどに靈的にマヒした生活を長い間してきたのです。

- ・自らの汚れたところ、嫌なところをだれかのせいにするのではありません。いいえ、痛い思いをしながら、悲しみを経験しながら、涙を流しながら、神の前に出て十字架を仰いだ時に、解決与えられるのです。
- ・神は私たちを愛してくださっています。神がねたむほどに慕っておられる御霊が、私たちの内に住んでくださっています。それにふさわしく、私たちは主の前に立たせていただくではありませんか。

ま と め

主 題：「さらに豊かになりましょう」

ー 7つの勧告ー

- ・今日、私たちは「人生に勝利する7つの道」について、神のみ声を聞きました。罪が支配するこの世の中で、靈的に死んだ者に、神はイエス・キリストをとおり救いの道を備えてくださいました。約束どおり、御霊も与えてくださいました。そして罪に負けるのではなく、勝利する道を備えてくださいました。なんといいう幸いではありませんか。これがクリスチャンです。
- ・では、私たちはどう生きればよいのでしょうか。
 1. 「7つの勧告」に従順であること
 2. 生ける神とともに歩むこと

* God bless you !